

台灣日語教育學報 投稿規定

98年12月6日第九屆第一次會員大會修訂通過
99年3月27日第九屆第六次理監事會議修訂通過
99年5月01日第九屆第七次理監事會議修訂通過
100年3月20日第十屆第三次理監事會議修訂通過
100年10月23日第十屆第六次理監事會議修訂通過
101年9月9日第十屆第九次理監事會議修訂通過
101年12月23日第十一屆第一次理監事會議修訂通過
102年10月26日第十一屆第五次理監事會議修訂通過

1. 主 旨：台湾における日本語、日本文学・文化教育及び研究のレベルを向上させるため、本学会では、毎年6月及び12月に、学会誌『台灣日語教育學報』（CD-ROM版、以下、学報と略す）を刊行する。本学報は投稿論文と特別寄稿から成る。
2. 論文領域：(1)日本語教育学、(2)日本語教育実践報告、(3)日本語教育と関連する日本語学・日本文学・日本文化の研究論文。上記分野の未発表のもの。修士論文や博士論文の節録及びそれらを翻訳したものは受理しない。
3. 投稿締切：3月10日（6月末発行）、8月31日（12月末発行）。いずれも消印有効とする。
4. 投稿資格：(1)台湾日語教育学会の会員（当該年会費を納入済みであること）。
(2)原稿提出以前に入会手続きを完了した新入会員。
各会員が一号の学報に投稿できる論文は一篇までとする。**また、二重投稿は固く禁じる。**
5. 審査方法：(1)学報編集委員会は当該期の理監事により構成される。投稿された論文の分野によって、(a)上位職位、匿名(b)同所属での相互審査をしない(c)投稿者が編集委員である場合には一時的に編集委員会の席から外れる、という3つの原則に基づき、編集委員会が四名の査読委員及び査読依頼の順序を推薦、決定し、事務局からまず上位三名の査読委員に送る。
(2)審査意見は、(a)採用(b)修正後採用(c)不採用の三つに分けられる。
(3)採用の可否は得点制を用いて決定し、三名の査読委員による審査で合計4点以上を得たものを合格とする。得点の詳細及び採用の可否については最後のページの「台灣日語教育學報審査得点制及び審査結果一覧表」を参照されたい。
(4)論文採用決定者にはCD-ROM版論文集を二部、査読委員にはCD-ROM版論文集を一部、それぞれ進呈する。採用の可否にかかわらず、提出された資料は一切返還しない。また、原稿料などの支給も行わない。
6. 提出資料：(1)論文の書式に沿った、プリントアウトした論文3部
(2)プリントアウトした論文と内容が一致している電子ファイル1部
(CD・DVDのいずれか、またはE-Mailによる送付)
なお、ファイル形式は **Word形式**と**PDF形式**、
要旨と本文を1つのファイルにすること
(3)審査費台湾ドル2500元（現金書留）
(4)投稿者個人資料票1部
(5)著作授權同意書1部
以上の5点を、締切までに（消印有効）書留にて台湾日本語教育学会事務局へ郵送する（封筒の表に「投稿台灣日語教育學報」と明記のこと）。
資料の不備があるものや締め切りを過ぎたものは受理しない。また、審査期間について別途通知することはしない。
7. 論文の書式：（書式の例も併せてご参照ください。）
(1)使用言語は日本語か中国語（繁体字）とする。
(2)原稿は、A4・横書き・30字×30行で作成する。
(3)各ページの余白は、上下各2.54cm、左右各3.17cmに設定する。
(4)論文冒頭には「論文タイトル」「氏名」「所属及び職位」の順に、中央揃えで記入する。専任教員の場合「専任」と明記する必要はないが、非常勤教員の場合は「兼任」、大学院生の場合は「修士課程／博士課程」と明記すること。（中国語、英語、日本語による要旨、及び論文本文の最初のページに明記すること。）
(5)字体及びサイズは以下のとおりとする。
日本語：論文タイトル（MSゴシック サイズ14 太字）
氏名、所属及び職位（MS明朝 サイズ12）

各章節タイトル (MS 明朝 サイズ 12 太字)

本文 (MS 明朝 サイズ 12)

中国語：論文タイトル (標楷體 サイズ 14 太字)

氏名、所属及び職位 (標楷體 サイズ 12)

各章節タイトル (標楷體 サイズ 12 太字)

本文 (標楷體 サイズ 12)

- (6) 中国語, 英語, 日本語による要旨 (各 1 頁 500 字以内) と 5 つ以内のキーワードをつける。
- (7) 論文は, 要旨, 本文, 図表, 参考文献, 付録資料などを含め, 全体で 30 ページ以内とする。ページ番号を付けること。
- (8) 章節の記号はアラビア数字 (1, 2, 3) を用い, 小節は 1.1, 1.2, 1.3 のようにつける。章節の番号を 1 から始める。
- (9) 注は脚注の形式を用い, 日本語は「MS 明朝 サイズ 10」で, 中国語は「標楷體 サイズ 10」でつける。
- (10) 参考文献は以下のように記載する。
- A. 並べ方：
- a. 日本語原稿の場合は, 「日本語文献 (五十音順), 中国語文献 (書き順), 英語文献 (アルファベット順)」の順に挙げる。
- b. 中国語原稿の場合は, 「中国語文献 (書き順), 日本語文献 (五十音順), 英語文献 (アルファベット順)」の順に挙げる。
- B. 書籍は「筆者／編者, 刊行年, 書名, 版数, 出版地, 出版社, ページ数」の順に記載する。
- C. 雑誌論文は, 「筆者, 刊行年, 論文名, 掲載誌, 号数 (巻数), 出版地, 出版社, ページ数」の順に記載する。
- D. 論文集は書籍と同じ形式で記載する。

台湾日語教育學會秘書處

東吳大學日本語文學系

台北市士林區臨溪路 70 號

E-Mail : taiwanjapanese.url.tw@gmail.com

HP URL : http://www.taiwanjapanese.url.tw/index.htm

『台湾日語教育學報』論文審査得点制及び審査結果一覧表

	査読者A	査読者B	査読者C	総得点	審査結果	備註： ○ 採用 3分 △ 修正後採用 2分 × 不採用 0分 総得点4点以上のものを採用とする。
評価1	○	○	○	9	採用	
得点	3	3	3			
評価2	○	○	△	8		
得点	3	3	2			
評価3	○	△	△	7		
得点	3	2	2			
評価4	○	○	×	6		
得点	3	3	0			
評価5	△	△	△	6		
得点	2	2	2			
評価6	○	△	×	5		
得点	3	2	0			
評価7	△	△	×	4		
得点	2	2	0			
評価8	○	×	×	3	不採用	
得点	3	0	0			
評価9	△	×	×	2		
得点	2	0	0			
評価10	×	×	×	0		
得点	0	0	0			